

検 印

## 第3学年1組 社会科 学習指導案

令和元年7月2日(火) 第5校時  
授業場所 第3学年1組 教室  
在籍児童数 14名  
指導者 教諭 石川 雄喜 ㊞

### 1 小単元名「久喜市の様子」

### 2 小単元の目標

- (1) 市の特色ある地形や土地利用の様子、主な公共施設の場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物の場所や様子、場所によって地域の様子には違いがあることを理解する。【知識及び技能】
- (2) 市の様子から学習問題を見だし、観察・調査したり地図やその他の資料を活用したりして、調べたことを地図記号や方位を活用して白地図にまとめるとともに、場所による地域の様子の違いや特色、よさを考えて、適切に表現する。【思考力・判断力・表現力等】
- (3) 市の特色ある地形や土地利用の様子、主な公共施設の場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などに関心をもち、日々生活している市に対する誇りや愛情をもつ。【学びに向かう力・人間性等】

### 3 小単元について

#### (1) 児童観

本学級の児童は、前小単元「わたしたちのまちから、みんなのまちへ」の学習において、本校周辺の見学を行い、土地利用の様子や建物の様子、交通の様子などをまとめ、地区の様子を学んできた。その中で、今までとは違った社会的事象の見方で、身近な地域をとらえ直そうとする態度が育ってきている。

また、前小単元の授業からは、本校周辺の地区だけではなく、栗橋地区、久喜地区、鷲宮地区には、実際に行ったことがある児童が多く、そこにある施設を利用した経験から大まかな様子については捉えている児童もいることがわかった。しかし、実際に見たことがあっても、利用したことのある施設だけに着目し、地域の様子を地形や土地利用の様子、交通の様子といった観点から捉えてはいない。また、本校からは離れている菖蒲地区の様子は、ほとんど知らないという児童が多かった。

そこで、本小単元の学習では、久喜市の特色を、観点到に沿ってまとめる学習を積み重ねたい。本校周辺の見学で明らかになったことを活かし、地図や写真などの資料を根拠にして、観点到に沿って整理しながら、自分たちが住む久喜市の特徴を捉えさせていきたい。

#### (2) 教材観

本小単元は、小学校学習指導要領解説社会編には次のとおり位置付けられている。

#### 第3学年及び第4学年の内容

- (1) 自分たちの住んでいる身近な地域や市について、次のことを観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。
  - ア 身近な地域や市の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など

「身近な地域や市の特色ある地形」を調べるとは、土地の低いところや高いところ、広々と開けた土地や川の流れているところなどに着目し、観察、調査したり地図などを活用したりして、自分たちの住んでいる身近な地域や市の土地の様子を具体的に調べ、白地図に表すことである。

「土地利用の様子」を調べるとは、田や畑の広がり、住宅や商店、工場の分布などに着目し、観察、調査したり地図などを活用したりして、身近な地域や市で生活している人々が土地をどのように利用しているのかを具体的に調べ、白地図に表すことである。その際、特色ある地形や交通などの様子と結び付けて、身近な地域や市の土地利用は地形や社会的な条件ともかかわりがあることに気付くようにする。

「主な公共施設などの場所と働き」を調べるとは、身近な地域や市で生活している人々が利用する主な公共施設などを取り上げ、観察、調査したり地図などを活用したりして、施設の名称や位置、働きなどを調べ、白地図に表すことである。ここで取り上げる施設としては、市役所をはじめ、学校、コミュニティセンター、図書館、資料館、文化会館、消防署、警察署など、多くの市民が利用したり、市民のために活動したりしている施設である。その際、多くの公共施設は市役所によって運営されていることや、災害時における避難場所は市役所において指定されていることに触れる。

「交通の様子」を調べるとは、身近な地域や市で生活している人々が利用している主な道路や鉄道などを取り上げ、観察、調査したり地図などを活用したりして、それらの名称や主な経路などを具体的に調べ、白地図に表すことである。その際、主な道路と市内の工場の分布、主な駅と商店の分布など、土地利用の様子を交通の様子と関連付けて考え、相互のかかわりに気付くようにする。

「古くから残る建造物」を調べるとは、身近な地域や市に古くから残る建造物を取り上げ、観察、調査を行ったりして、その位置や昔の様子、いわれなどを調べ、白地図に表すことである。ここで取り上げる建造物は、神社、寺院、伝統的な家屋などである。また、宿場町などの伝統的な家並を取り上げる。

### (3) 指導観

本小単元から、学習する地域の範囲はすべて久喜市となる。本小単元では、はじめに航空写真や地図から、久喜市の様子について関心を高め、学習問題を設定する。久喜市の様子について、場所によって違いがあるかどうかを児童の生活経験を基に考えさせ、学習の見通しをもたせていく。その際、久喜市に関連する資料を通して、市全体の地域的特色を捉えさせる。

また、社会科の入門期であるので、調べたことを白地図にまとめたり、資料や観察したことから類似点や相違点を整理したりする活動を重視することで、発達段階にあった社会科の学び方を身に付けさせていく。そして、四つの地域の様子を捉える学習を重ねながら、「久喜市には、さまざまな場所があり、それぞれの地形や土地利用、交通の様子など、市内の様子は場所によって違いがある」と考えられるようにする。そして、自分たちの住む久喜市という社会的事象を捉え直すことを通して、久喜市の「よさ」と、地域への誇りと愛情を意識するきっかけとしていく。

## 4 研究主題とのかかわり

「カリキュラム・マネジメントによる学校教育活動の改善に関する研究」  
～ SDG s の実現を目指す ESD の取組をとおして ～

本校児童に身に付けたい資質・能力である「困難な課題に立ち向かい、様々な人々と力を合わせて解決し、よりよい未来を創ろうと考え行動する力」を育成するためには、SDG s（持続可能な開発目標）、ESD（持続可能な社会の担い手を育む教育）の視点を取り入れた教育課程を編成し、体系的・継続的な教育活動を実践していくことが求められる。そのために次の2つの手立てから研究主題に迫っていく。

#### 【研究主題に迫るための手立て①】

SDG s、本時におけるESDの視点を明確にし、本校児童に身に付けたい資質・能力を育成する。

SDG s 11：「住み続けられるまちづくりを」

ESDの視点：「多様性」 社会の多様性を尊重し、事物・現象を多面的に見たり考えたりする。

「相互性」 人と社会がつながりを持ち、相互に作用していることを認識する。

「公平性」 一人一人の人権や生命が尊重されることを保持する。

#### 【研究主題に迫るための手立て②】

教科横断的な指導の視点を明確にし、自分たちが日々生活している市に対する誇りや愛情をもたせる。

社会 「わたしたちのまちから、みんなのまちへ」「今にのこる久喜市の昔とくらしのうつりかわり」

道徳 「心をつないだ合言葉」「にんじんのかざり切り」

## 5 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
・市の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などに関心をもち、意欲的に調べている。	・市の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物などについて、学習問題や予想を考え、表現している。	・観点に基づいて地図や写真などの資料を活用し、市の様子について必要な情報を集め、読み取っている。	・市の様子は、場所によって違いがあることを理解している。

6 小単元の指導と評価の計画 (全11時間)

時数	学習活動・学習内容	評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1	○2つの地域の様子を比較して表にまとめ学習問題を立てる。	①市全体へ関心をもち、学習問題をつくらうとしている。	学習問題 わたしたちの住んでいる久喜市は、どのようなところがあってどのような様子なのだろうか。		
2	○久喜市の位置や市の地区を調べ、市の様子や地域の様子を理解する。		①市の位置がどのような位置関係なのかを考え、表現している。		
3	○白地図を着色することを通して市の地形について、理解する。		②市の地形について考え、表現している。		
4	○白地図を着色することを通して田畑が多いところを理解する。				①田畑が多いところを理解している。
5	○久喜市に古くから残るものをまとめる。			①古くから残るものをまとめることができる。	
6	○白地図を着色することを通して、交通の広がりや市の様子について気付く。			②交通の広がりや市の様子について気付くことができる。	
7	○白地図を着色することを通して工場が多いところを理解する。				②工場が多いところを理解している。
8	○白地図を着色することを通して店が多いところを理解する。				③店が多いところを理解している。
9	○白地図を着色することを通して、住宅が多いところと、他の様子との関連に気付く。			③住宅が多いところと、他の様子との関連に気付くことができる。	
⑩ 本時	○公共施設は久喜市の全地区にあり、市民の生活を助けるためにあるという働きを理解する。				④公共施設の場所と働きについて理解している。
11	○久喜市の様子を整理して、学習問題の結論を書く。	②市の地図を振り返り、表に整理をして、学習問題の結論をつくらうとしている。	学習問題の結論の例 久喜市は、駅のまわりにお店と住たくが多い。大きな道の通りに、住たくや工場が集まっている。田や畑、古くからのこるもの、公共施設は市内全体に広がっている。		

7 本時の学習指導（10／11時）

(1) 目 標 ○公共施設は久喜市の全地区にあり、市民の生活を助けるためにあるという働きを理解する。

(2) 評価規準 ・公共施設の場所と働きについて理解している。【社会的事象についての知識・理解④】

(3) 展 開

過程	学習活動 ・予想される児童の思考	○指導上の留意点 ※評価 ★研究主題に迫るための手立て	時間
つかむ	1 前時までの学習を受け、本時の見通しをもつ。	○本時までに身に付けた、見方・考え方を児童が働かせることができるよう、本小単元の学習問題の確認を行う。 ○本時の学習の流れを確認する。 ★栗橋地区の公共施設を、学校周辺探検の際の写真で紹介する。 【手立て②】	2
	2 公共施設について知っていることを出し合い、学習課題を捉える。 ・市役所 ・学校 ・文化会館 ・図書館 ・消防署 ・警察署 ・センター ・公園 ・市役所では、おうちの人が書いているをもらっていた。 ・学校は、みんなで勉強をするところ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">久喜市の公共施設はどこにあり、どのようなはたらきをしているのだろうか。</div>	○市や県でつくった施設を、公共施設ということをおさえる。 ○学校周辺探検や今までの経験などをもとにして、公共施設の種類とその名称を理解させる。 ○それぞれの公共施設でどのようなことをしているのか、今までの経験から発表させ、公共施設は多くの市民が利用・活用するためにあるということをおさえる。 ○栗橋文化会館は「イリス」ではなく、「文化会館」と板書するなど、正しい表記で捉えさせる。	10
調べる	3 白地図にある公共施設に丸をつける。	★栗橋地区、久喜地区、鷲宮地区、菖蒲地区の4つのグループに分かれ、白地図にある公共施設に丸をつけさせ（個人作業）、どのように広がっているのかを調べさせる（グループ作業）。 【手立て①】 ○本時までに身に付けた、見方・考え方を児童が働かせることができるよう、「学校」「図書館」「消防署」「警察署」は地図記号で白地図に記載する。	10
	4 各地区の公共施設の広がりについて、発表し合い、全体で共有する。 ・どの地区にも、公共施設がある。	○各グループの発表後、4つの地区の白地図を合わせ、工場や店などどちがって久喜市内全体に施設があることを理解させる。 ○本時までに身に付けた、見方・考え方を児童が働かせることができるよう、「公共施設は、住宅が多く集まっているところに多いこと」に着目させる。	10
	5 市内のどの地区にも公共施設がある理由を考える。	○写真を見させる前に、公共施設が市内のどの地区にもある理由を、児童に予想させる。 ★「公共施設の避難場所看板」の写真から、公共施設が避難所にもなることを理解させる。【手立て①】 ○調べたことをもとに、公共施設が市内のどの地区にもある理由は、「市民の生活を助けるため」であるということをおさえる。	3
まとめる	6 本時のまとめを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">公共施設は久喜市内のどの地区にもある。市民の生活をたすけるというはたらきがある。</div>	○本時の学習を踏まえて、自分の考えを書けるようにする。 ※公共施設の場所と働きについて理解している。 【社会的事象についての知識・理解④】（観察・ノート） A 「住宅が多く集まっているところに多い」「さいがいのときはひなん所になる」という授業の中で明らかになったことを書くことができている。	5

	<p>7 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生活に役立っている。</li> <li>・初めて知ったところに行ってみたい。</li> </ul> <p>8 次時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できそう。</li> </ul>	<p>B 黒板をもとにして、「公共しせつは久喜市内のどの地区にもある」「市民の生活をたすけるというはたらきがある」という2つの視点でまとめを書くことができる。</p> <p>★本時の学習を振り返って、わかったこと、大事なこと、これからどうしたいかななどを自分の言葉で記述させ、意図的指名をして個人の学びを確認する。【手立て②】</p> <p>○次時は、学習問題の結論を考えることを予告する。</p>	<p>4</p> <p>1</p>
--	---	---	-------------------

(4) 板書計画

7 / 2 久喜市の公共しせつ

**学習問題**

わたしたちの住んでいる久喜市は、どのようなところがあってどのような様子なのだろうか。

公共しせつ=市や県でつくったしせつ


市役所→書いてもらう。  
 学校→べんきょうをする。  
 消ぼうしよ、けいさつしよ、センター、公えん  
 イリス→文化会館、図書館など

➡ 多くの人たちがりようしている

**かだい**

久喜市の公共しせつはどこにあり、どのようなはたらきをしているのだろうか。

白地図



- ・久喜市内のどの地区にも公共しせつがある。
- ・住たくが多く集まるところに公共しせつがおおい。
- ・さいがいのときはひなん所になる。  
 →市民の生活をたすけるというはたらき

**まとめ**

公共しせつは久喜市内のどの地区にもある。市民の生活をたすけるというはたらきがある。

8 参考文献

・「小学校学習指導要領解説社会編」	文部科学省	平成20年8月	株式会社東洋館出版社
・「小学校学習指導要領解説社会編」	文部科学省	平成29年7月	日本文教出版株式会社
・「埼玉県小学校教育課程編成要領」	埼玉県教育委員会	平成30年3月	関東図書株式会社
・「埼玉県小学校教育課程指導資料」	埼玉県教育委員会	平成22年3月	関東図書株式会社
・「埼玉県小学校教育課程評価資料」	埼玉県教育委員会	平成23年3月	関東図書株式会社
・「埼玉県小学校教育課程指導実践事例集」	埼玉県教育委員会	平成24年3月	関東図書株式会社
・「社会科3・4年 365日の板書型指導案」	阿部隆幸	平成31年3月	明治図書出版株式会社